



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 サイバネットシステム株式会社

コード番号 4312 URL <http://www.cybernet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 邦明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 高橋 宏

TEL 03-5297-3010

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,960	1.9	204	△50.5	303	△30.5	91	△48.5
24年3月期第3四半期	9,773	5.8	413	181.1	436	149.1	177	△36.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 257百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △235百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	292.83	—
24年3月期第3四半期	568.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	16,119	12,627	78.3
24年3月期	17,216	12,694	73.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,627百万円 24年3月期 12,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	160.00	—	520.00	680.00
25年3月期	—	520.00	—		
25年3月期(予想)				520.00	1,040.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.8	697	10.3	750	7.3	385	28.2	1,235.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	324,000 株	24年3月期	324,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	12,417 株	24年3月期	12,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	311,583 株	24年3月期3Q	311,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループは、経営ビジョンである「First Contact Company ～お客様・パートナーが、最初に相談する企業でありたい～」の下、当期を初年度とする新中期経営計画において、次の経営基本戦略並びに重点施策に取り組んでまいりました。

4つの経営基本戦略並びに重点施策

- 1) 新しい価値を持つ当社独自のソリューションの開発と提供
様々な領域にまたがる複合・統合ソリューション（マルチドメインソリューション）の推進
 - 2) システムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）（※1）市場の創造と拡大
複合領域物理モデルシミュレータを利用したシステムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）環境の整備と推進
 - 3) 顧客との深いコミュニケーション機会の創出により、多様なニーズの把握とその対応強化
自動車業界への拡販戦略
 - 4) 当社グループ製品及びソリューションの海外展開の加速化
韓国進出、北米・欧州販売網の強化
- （※1）システムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）とは、自動車・船舶・工作機械・ロボットなどの制御対象が持つ様々な機能を統合的かつ高速にシミュレーションするための手法。

当第3四半期連結累計期間の業績は、主力商品を中心とした保守契約が高い更新率を維持し、注力顧客及び新分野における大型案件の受注活動が概ね順調に推移いたしました。また、主要の一つである電機業界において顧客の多くが予算執行を凍結・先送り傾向となり、全般的に新規受注が計画を下回る結果となりました。

このような厳しい受注活動の中、当社独自のカンファレンス開催をはじめとしたマーケティング活動を積極的に推進すると共に、基本戦略であるマルチドメインソリューション並びにサイバネットソリューションの開発・提案に取り組んでまいりました。また、当社の信頼性の高いサポート力を活かした開発元との業務連携による大型受注活動を積極的に推進いたしました。

以上の事業活動の結果、第3四半期連結累計期間における売上高は99億60百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は2億4百万円（前年同期比50.5%減）、経常利益は3億3百万円（前年同期比30.5%減）、四半期純利益は91百万円（前年同期比48.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① CAEソリューションサービス事業

機械系分野は、新規ライセンス販売が全般的に低調に推移し期待していた水準を下回りました。しかしながら、保守契約の更新が堅調に推移したことに加え、原子力関連のエンジニアリングサービスの受注が堅調に推移したことにより、前年同期の水準を維持いたしました。

光学系分野は、ディスプレイ業界の低迷により新規ライセンス販売が低調でしたが、保守契約の更新が堅調に推移したことにより、前年同期の水準を維持いたしました。

エレクトロニクス分野は、主力EDAソフトウェアの電子・電気回路設計システムは新規ライセンス販売が第3四半期に低調に推移したものの保守契約の更新が回復基調となり、概ね前年同期の水準を維持いたしました。そして、新分野であるシステムLSIの上流設計・検証に利用するEDAソフトウェアは、複数年契約を複数件受注し、前年同期を大幅に上回りました。

制御系分野は、当社グループ開発製品である複合領域物理モデリング環境の新規ライセンス販売が当第2四半期会計期間までは堅調に推移いたしました。当第3四半期会計期間は前年同期の水準には至りませんでした。しかしながら、自動車業界向けのエンジニアリングサービスが好調に推移したことから、前年同期の水準を大きく上回りました。

新分野は、注力商品であるイノベーション支援ソフトウェアの新規ライセンス販売及び保守契約の更新が期待した水準には至りませんでした。3次元モデラーの新規ライセンス販売及び保守契約の更新は、当第3四半期会計期間に伸び悩んだものの、エンジニアリングサービスが好調に推移したことにより、前年同期の水準を上回りました。一方、当社グループ会社製品である解析プロセス統合／最適化CAEソフトウェアと公差解析ソフトウェアの新規ライセンス販売は、セミナー等において一定の製品評価を得ましたが、期待した水準には至りませんでした。

汎用可視化処理関連ビジネスは、防災・減災意識の高まりによる都市環境、土木、気象等の分野にお

ける解析データの可視化需要が増加し、概ね順調に推移いたしました。一方、医療分野の可視化領域では、東日本大震災以降、クラウドによる診断画像管理などの需要が高まりつつあるものの、前年同期の水準には至りませんでした。

教育ビジネスの「CAEユニバーシティ」は、大手製造業向けの設計者CAE教育の引き合いが増加いたしました。

当社グループの海外事業展開においては、業績向上を目的とし以下のとおりグローバル販売網の展開を進めております。

- 1) 連結開発子会社であるWATERLOO MAPLE INC. (カナダ) が開発する複合領域物理モデルシミュレータ及び数式処理ソフトウェアの拡販を目的として、韓国に当社の販売子会社を設立。
- 2) 連結開発子会社であるNoesis Solutions NV (ベルギー) は、解析プロセス統合/最適化CAEソフトウェアの北米市場での拡販を目的として、米国に同社の販売子会社を設立。
- 3) 中国における販売事業展開においては、連結子会社である莎益博設計系統商貿(上海)有限公司が北京オフィスを開設。

以上の結果、売上高は86億9百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は11億2百万円(前年同期比18.8%減)となりました。

② ITソリューションサービス事業

ITソリューションサービス事業は、顧客のIT投資への投資抑制を懸念しておりましたが、概ね好調に推移いたしました。特に、大手情報機器メーカー向けPC監視/遠隔操作ツールの大型受注及びIT資産管理ソリューションが大幅に伸張いたしました。ディスク暗号化ソフトウェアは、当第3四半期会計期間に伸び悩んだものの、期待した水準を大きく上回っております。

さらに、開発元による当社の高いサポート力評価を得て、前期から戦略的に活動を進めていた大口企業向けセキュリティ脅威対策ソリューションの大型入札案件を受注するなど、堅調に進捗いたしました。また、情報セキュリティ関連におけるエンジニアリングサービスは、期待した水準を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は13億50百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益は1億53百万円(前年同期比171.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、112億14百万円(前連結会計年度末比6億5百万円の増加)となりました。これは主に、有価証券の増加15億5百万円、短期貸付金の増加2億13百万円、現金及び預金の減少4億91百万円、受取手形及び売掛金の減少6億48百万円によるものです。

固定資産は、49億4百万円(前連結会計年度末比17億2百万円の減少)となりました。これは主に、のれんの減少1億23百万円、投資有価証券の減少15億32百万円によるものです。

この結果、当第3四半期末における総資産は、161億19百万円(前連結会計年度末比10億97百万円の減少)となりました。

(負債)

流動負債は、27億66百万円(前連結会計年度末比10億99百万円の減少)となりました。これは主に、買掛金の減少4億57百万円、未払法人税等の減少4億99百万円によるものです。

固定負債は、7億25百万円(前連結会計年度末比68百万円の増加)となりました。これは主に、退職給付引当金の増加65百万円によるものです。

この結果、当第3四半期末における負債合計は、34億91百万円(前連結会計年度末比10億30百万円の減少)となりました。

(純資産)

当第3四半期末における純資産は、126億27百万円(前連結会計年度末比66百万円の減少)となりました。これは主に、利益剰余金の減少2億32百万円、その他有価証券評価差額金の増加82百万円、為替換算調整勘定の増加86百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.7%から78.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが提供する様々なCAEソリューションサービスは、ものづくり企業の品質向上、開発期間の短縮、開発コスト削減、製品の安全性の向上並びに環境に配慮した製品開発に貢献しております。当社グループは、引き続き営業及びマーケティング並びに技術サポート・開発体制を強化しながら、顧客の複雑かつ高度な課題を解決するために、高付加価値かつ高品質のソリューション提供に注力してまいります。

当第4四半期会計期間は、為替相場の円安変動並びに公共投資を中心とする追加補正予算に対する動向から国内製造業の積極投資が見込まれております。しかし一方で、グローバル経済環境において、一部に積極投資が見られるものの、わが国製造業の業績への影響が懸念される国内外の諸要因は依然として解決に至っておらず、先行き景況感への慎重姿勢等を勘案した結果、平成24年4月26日発表の通期業績予想に変更はありません。

[ご参考 平成24年度(平成25年3月期連結業績見通し)]

売上高	140億円	(前年比2.8%増)
経常利益	7億50百万円	(前年比7.3%増)
当期純利益	3億85百万円	(前年比28.2%増)

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

- 平成24年度(平成25年3月期)連結業績予想値は、いずれも業界等の動向、国内および海外の経済状況、為替相場等の要因について、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。
- 上記の連結業績見通しの算定に使用しました当期の為替相場は、84円/米ドルを想定したものであり、計画に基づいたドル建て原価の84%相当額を平均約78円/米ドルで為替予約済みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,842,031	1,350,850
受取手形及び売掛金	3,383,561	2,735,024
有価証券	121,967	1,627,732
商品及び製品	23,449	15,588
仕掛品	17,318	24,718
原材料及び貯蔵品	8,175	5,558
短期貸付金	4,000,000	4,213,236
その他	1,215,852	1,246,546
貸倒引当金	△3,019	△4,820
流動資産合計	10,609,336	11,214,433
固定資産		
有形固定資産	296,440	286,629
無形固定資産		
のれん	2,968,272	2,844,554
その他	195,153	176,957
無形固定資産合計	3,163,426	3,021,511
投資その他の資産		
投資有価証券	2,722,627	1,190,000
その他	438,648	433,988
貸倒引当金	△13,637	△27,190
投資その他の資産合計	3,147,638	1,596,798
固定資産合計	6,607,505	4,904,939
資産合計	17,216,841	16,119,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,419,899	962,676
未払法人税等	499,504	—
賞与引当金	430,349	206,331
役員賞与引当金	22,240	17,070
その他	1,493,309	1,580,069
流動負債合計	3,865,302	2,766,147
固定負債		
退職給付引当金	625,553	691,258
その他	31,348	34,035
固定負債合計	656,902	725,293
負債合計	4,522,205	3,491,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	12,127,276	11,894,470
自己株式	△781,567	△781,567
株主資本合計	13,249,709	13,016,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152,859	△69,862
繰延ヘッジ損益	43,686	40,454
為替換算調整勘定	△445,900	△359,564
その他の包括利益累計額合計	△555,072	△388,972
純資産合計	12,694,636	12,627,930
負債純資産合計	17,216,841	16,119,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,773,031	9,960,086
売上原価	5,652,162	5,811,704
売上総利益	4,120,869	4,148,382
販売費及び一般管理費	3,707,612	3,944,008
営業利益	413,256	204,373
営業外収益		
受取利息	22,059	21,897
受取配当金	—	6,036
為替差益	—	19,750
助成金収入	30,179	44,991
その他	9,419	6,652
営業外収益合計	61,658	99,328
営業外費用		
売上割引	139	154
為替差損	38,351	—
その他	48	458
営業外費用合計	38,539	613
経常利益	436,375	303,089
特別利益		
投資有価証券売却益	41,257	31,600
特別利益合計	41,257	31,600
特別損失		
固定資産売却損	1,971	509
固定資産除却損	1,410	698
減損損失	—	28,008
特別損失合計	3,382	29,216
税金等調整前四半期純利益	474,250	305,473
法人税、住民税及び事業税	198,750	103,091
法人税等調整額	98,475	111,140
法人税等合計	297,226	214,232
少数株主損益調整前四半期純利益	177,024	91,240
少数株主利益	—	—
四半期純利益	177,024	91,240

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177,024	91,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,208	82,996
繰延ヘッジ損益	△31,286	△3,232
為替換算調整勘定	△316,856	86,335
その他の包括利益合計	△412,352	166,099
四半期包括利益	△235,328	257,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,328	257,340
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。